

発刊にあたって

財団法人富山県健康スポーツ財団

専務理事（スポーツ担当）

富山県総合体育センター

センター長 畠 隆 夫

昨年8月に世界陸上大阪大会が開催され、富山県出身の谷井 孝行選手（競歩20 km）、山崎 勇喜選手（競歩50 km）が出場しました。これも普段からの技術練習、体力トレーニング、食事などいろいろな面での努力が実を結んだのでしょう。世界レベルの大会に、富山県出身の選手が2人も出場したことは富山県民にとっても誇らしく思いますし、彼らが頑張る姿に元気をもらったことでしょう。

富山県総合体育センターでは、平成3年から富山県の競技力向上をサポート・支援する目的で「スポーツ医・科学的トレーニング推進事業」を実施し、強化指定した選手に医・科学的測定や検査を行い、その結果に基づいたトレーニング方法の指導・助言や各種研修会により選手や指導者のレベルアップを図ってきました。

今年度よりアイスホッケー、ソフトテニスの2競技を加え、野球、駅伝、スキー、水球、ウエイトリフティングと合わせて7競技となり、新たなスタートとなりました。駅伝・中学では合宿を中心とした継続的なサポートにより、全国都道府県駅伝の中学生区間で男女とも大活躍をしてくれました。その他の競技においても着実な成果が現われてきています。

本誌では、今年度各競技のサポート内容について掲載いたしましたので、本県の指導者や選手の皆様にご一読いただき、競技力向上のためにお役立ていただけることを期待し、発刊のことばといたします。

